ピンマイク型・エアマスク【取扱説明書】

企画開発

コーベビオケミア(株)

〒６５１－００８７ 神戸市中央区御幸通５－２－５

お客様相談室

電話 ０７８－２３２－４５００

（受付時間 平日午前9:30 から 午後6:00）

１．ピンマイク型・エアマスクとは

■ピンマイク型･エアマスクは独自技術で二酸化塩素量を調節し一定期間徐放できるよう工夫しています。また独特な二酸化塩素臭を化学的にマスキングしていますのでニオイを気にせず【ウイルスや細菌、花粉など】の対策にご使用いただけます。

２．作用効果

■ピンマイク型・エアマスクから放散される『二酸化塩素分子＜ＣＬＯ2＞』が周辺空間に浮遊する【ウイルスや細菌、花粉など】を構成するタンパク質の構造に影響し、【ウイルスや細菌、花粉】の本来の機能を変化させます。

※ 本品は、以下の試験を第三者評価機関で確認済みです。

- インフルエンザウイルスH1N1 不活化試験 試験データ
  （財団法人日本食品分析センター調べ)、
- スギ花粉（ＣｒｙＪ1）アレルゲン濃度試験データ
  （株式会社東京アレルギー研究所調べ)、

３． 取付け場所例

■ピンマイク型・エアマスク【取り付け場所例】
・衣服の胸元や襟元にピンマイク型容器のクリップを使って装着して下さい。

4．使用方法

■ピンマイク型・エアマスク【使用方法】

- ピンマイク型・エアマスクに本品付属の錠剤（1 錠）を収納します。
  1）ピンマイク型容器のフタを折るようにして取り外します。
  2）付属の錠剤（１錠）をアルミパックから取り出します。
  3）錠剤をピンマイク型容器の錠剤ポケットにセットしてください。
  4）取り外したフタを再度しっかりとはめ込んでから使用を開始して下さい。
- ピンマイク型容器のクリップを使って衣服の胸元や襟元などに装着して下さい。
- 錠剤（１錠）の使用期間は一週間程度を目安にお使い下さい。
- そのまま継続してご使用の場合は、使い終えた錠剤を取り外し、その際に錠剤ポケット内を柔らかい布やテッシュでふき取ってから次の錠剤をセットして下さい。
- 本品を使用する目的は本品周辺空間の空間除菌に限ってご使用下さい。

内容: 二酸化塩素錠剤×４錠、ピンマイク型容器×１個

ピンマイク型容器のキャップを外します。

アルミパックから錠剤1錠を取り出して、容器にはめ込みます。

キャップを元通りにはめて、胸元などにクリップで装着します。

5．使用上の注意

■ピンマイク型・エアマスク【使用上の注意】

- 本品は食べられません。特に小児や高齢者の方の誤飲には十分注意してください。
- 小児の手の届かないところで保管および使用してください。
- 高温・多湿および直射日光を避けて涼しい暗所に保管してください。
- 本品を水に濡らさないでください。特に使用中に水が掛からないように注意して使って下さい。
- 本品を水や汗で濡れたまま使用された場合、まれに金属を腐食させる可能性があるため、貴金属や精密機器などのそばでは使用しないでください。また、同様に本品を水や汗で濡れたまま使用された場合、まれに漂白作用が生じますので色落ちの恐れのある色物繊維、皮革製品などのそばでは使用しないでください。
- 本品をご使用の際にはクリップを使って装着し、本品が直接、肌や衣服に触れないようにしてください。
- 本品（及び錠剤）を鼻先で直接吸い込んだり、極端に狭い空間で使用しないでください。特に錠剤が水や汗に濡れた場合に刺激臭を感じることがありますので注意してください。
- 通常の使用中で成分臭が気になる場合や万一不快な症状がみられる場合は使用を中止してください。
- 本品は動物・植物のそばでは使用しないでください。
- 他の製品との併用は避け、本品は必ず単独で使用してください。
- 本品を使用中にクリップが外れて本品が脱落しないよう、装飾品やネクタイ・スカーフ・マフラーや車のシートベルトなどとこすれ合ったり、本品に対して外部からの衝撃が加わらないように注して使用して下さい。
- 本品を所定の用途以外に使用しないでください。

■ピンマイク型・エアマスク【応急処置】

- 万一誤って錠剤を飲み込んだ場合はすぐに大量の水を飲ませて吐き戻させ、再度牛乳または水を飲ませるなどの処置をして、異常があれば速やかに医師に相談してください。
- 万一錠剤が目に入った場合はすぐに大量の水で洗い流し、異常があれば速やかに医師に相談してください。
- 万一本品の錠剤を水で濡らした場合は速やかに水気を切って、錠剤は直接触れないようにして本体から取り外し、本体・錠剤ともテッシュなどで水気をふき取ってください。その際万一臭気がする場合は換気を行ってください。再使用の場合は、本体と錠剤が乾燥していることを確認してから使用方法に従って使用してください。
- 万一濡れた錠剤が直接皮膚についた場合はすぐに水と石けんで洗い流し、異常があれば速やかに医師に相談してください。